

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	ベネッセ四ツ木保育園
施設所在地	東京都葛飾区四つ木4-1-4
法人名	株式会社ベネッセスタイルケア

1. 活動のテーマ

<テーマ> 音

さまざまな音に興味を示していることから、0歳児も触れることができる楽器を準備し、主体的な関わりから音に触れることを楽しむ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日頃から保育者のわらべうたに興味を示し、保育者の歌声や音に関心を寄せる姿があった。さまざまな素材に音があることを楽しんでいる。物の音から、音階のある音への興味を広げていく。

2. 活動スケジュール

夕方に室内に楽器を置いておくことで、なんだろう？の気持ちに触れ、自ら触れる機会を持つ。探求をする中で、音が鳴ることに気づき、音を鳴らすことを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ペントニック、落ち着いて遊べる時間と場所

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

夕方のゆっくりとした時間。自ら関わるができるようにそのまま玩具を置いておく。自分から関わり音が鳴ることで喜び、友だちと一緒に喜びを分かち合う。また、音の違いにも気づき、さまざまな音に触れる楽しみを味わう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

玩具を見つけ、自ら関わり触れる中で音が鳴ることに気付く。自分から音を鳴らして楽しむ、友だちの姿を見て手を伸ばすなど、様々な姿があった。音の違いにも気づき、友だちや保育者に喜びを伝えようとする。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ペタトニックの形が発達に合っており、興味が広がっていた。感触を楽しみ、触れることで音が鳴ることにより、五感を使って自分の表現を楽しむ様子があった。友だちがやっているのを見て、安心して同じことをやってみる姿もあり、一緒に喜び合う姿が見られた。興味や発達に合わせた玩具、環境を準備する大切さを改めて考えさせられた。